

2024.12.21.sat

15:00～17:30

Date and time:

Saturday, December 21st

3:00 p.m.～5:30 p.m. (UTC+9)

Covid-19 and Gender

場 所 オンライン

使用言語 日本語／英語(同時通訳)

Venue: Zoom Online Japanese - English Simultaneous interpretation

Covid-19の影響と
ジェンダーをめぐる問題

「新型コロナウイルス感染症＝Covid-19」をめぐる現在進行形で実施されているさまざまな研究課題を持ち寄り、今後の社会のあり方とジェンダーに関するテーマの再発見へとつなげます。

program

司会者：水垣源太郎(奈良女子大学)

Moderator: Gentaro Mizugaki (Nara Women's University)

15:00～15:05 趣旨説明：高岡尚子(奈良女子大学)

Explanation by Naoko Takaoka (Nara Women's University)

第1報告 15:05～15:30

松岡 由佳氏(名古屋大学)

Yuka Matsuoka (Nagoya University, Geography)

「コロナ禍における障がい者雇用と支援」

“Employment and support for people with disabilities under the COVID-19 pandemic”



COVID-19の感染拡大に伴い、私たちの日常生活は、あらゆる側面において大きな見直しを迫られた。感染拡大による影響は、障がい者の生活や支援の現場にも及んだ。本報告では、とりわけ障がい者雇用に注目し、コロナ禍における障がい者の求職や就業の状況、それに対する支援の実情について、ジェンダーの視点を織り交ぜながら考察したい。

第2報告 15:30～15:55

諸昭喜氏(国立民族学博物館)

Sohee Che (National Museum of Ethnology, Anthropology)

「コロナレッド」として再現された韓国の民俗病「鬱火病」：COVID-19パンデミックにおけるジェンダー別の感情反応

“The Revival of Ulhwa-byung as “Corona Red”: Gendered Emotional Responses during the COVID-19 Pandemic”



本講演では、韓国の民俗病「鬱火病」がCOVID-19パンデミック中に「コロナレッド」として再現された現象を探究する。若い世代では、女性が無力感や抑うつ感を抱えることが多く、男性は攻撃的な行動を示す傾向が報告された。ジェンダー別の感情対処法の違いに注目し、その影響を考察する。

第3報告 15:55～16:20

志牟田 美佐氏(東京慈恵会医科大学)

Misa Shimuta (The Jikei University, Medical Science)

「COVID-19による緊急事態宣言が科学系研究者・技術者に与えた影響」

“Impact of the COVID-19 state of emergency on scientific researchers and engineers”



2020年3月の緊急事態宣言により、研究者、技術者、学生は研究機関への出入りが長期間制限された。本講演では、宣言直後の調査を基に、任期付き研究者など弱い立場の研究者がさらなる困難に直面し、学校閉鎖や家事負担増等による女性研究者の仕事が阻害された実態を報告し、ポストパンデミック社会の課題を考察する。

第4報告 16:20～16:45

ニリュフェル・コルクマズ・ヤイラギル氏(トルコ アクデニズ大学)

Nilüfer Korkmaz Yaylagül

(Akdeniz University; Turkey, Gerontology)

「パンデミックはジェンダーロールをどう変えたか：トルコにおける女性、ケア行為、エッセンシャルワーク」

“How the Pandemic Reshaped Gender Roles: Women, Caregiving, and Essential Work in Turkey”



トルコにおけるCovid-19の大流行は、女性の無報酬の介護労働、特に高齢者介護を著しく増加させた。研究により、伝統的に第一の介護者とみなされてきた女性が、ロックダウンや学校閉鎖の間、増加した家事責任のかなりの部分を担っていたことが明らかになった。またこの時期には、医療や高齢者介護のような必要不可欠な分野で女性が果たす重要な役割も浮き彫りになった。これらの課題は、高齢者介護に関する負担がジェンダー化されていることに対処し、危機の際に介護役割を担う女性へより良い支援を提供する政策の必要性を強調している。

16:55～17:00 コメント：高岡尚子 Comments by Naoko Takaoka

17:00～17:30 ディスカッション Discussion (Speakers + Moderator)

主催：奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター

TEL 0742-20-3611(月、火、木9:30～15:30) e-mail a-gender.c@cc.nara-wu.ac.jp

Organizer: Center for Gender and Women's Culture in Asia, Nara Women's University

申込方法

右記のフォームから

12月15日(日)までにお申込みください。

申込者にzoom接続情報をお送りします。

